第２部　「地域の懸案事項に関する報告」に対する意見・質疑

①　由比ガ浜四丁目開発計画について

＜由比ガ浜西自治会　兵藤会長＞

市長は現状をよく理解されているということで良いか。現在、事業者が開発をストップしているが、計画が地域と合致していないということは以前から市長もおっしゃっている。

＜松尾市長＞

住民の皆さんが交通問題など、様々御心配されているということを事業者含めて三者で話し合いをし、事業者にきちんと受け止めていただいて、計画を進めていくということだと思っている。しかし、事業者はその答えを全く出していないので、その部分については全く進展がない状況であると思っている。

事業者にきちんと住民の要望を受け止めていただき、より良いものに変えていくという姿勢が必要であると再三申し上げている。

＜由比ガ浜西自治会　兵藤会長＞

少子高齢化で人口が減っていく中で、あの場所に大きなスーパーマーケットと巨大な駐車場、特に駐車場は、鎌倉市はなるべく車を中に入れないという政策でロードプライシングの検討も行っているのに、玄関口に巨大な駐車場を設けるというのは、相反すると思うが、市長はどのように考えているか。

＜松尾市長＞

受け止め方からすると、市外から多く車を受け入れていくというよりも、駐車場の設置義務がある中での話である。それ以上に重く受け止めているのは、道路が脆弱な中であれだけの台数の駐車場が出来ることによる交通量増加の負荷はとても大きいと考えている。市としても重く受け止め、事業者に再三要望してきた。

＜由比ガ浜西自治会　兵藤会長＞

そうすると、やはりあの計画はあの場所には合致していないということにならないか。

＜松尾市長＞

計画全体として、これまでの手続きからいうと行政が完全に否定することはできない。しかし、交通面の負荷は大きいので、その改善にはきちんと取り組んでいただきたいと思っている。

＜由比ガ浜西自治会　兵藤会長＞

由比ガ浜の住民にとって、買い物できる場所がないということは問題だと思う。しかし果たして大きなスーパーマーケットが必要かというとそうではなく、近隣には既存の商業施設があり、昔のお豆腐屋さんのイメージで小さな車で定期的に入ってきて近隣住民が集まって販売するようなやり方など、工夫を凝らしていただくことが賢明であると思う。

大きなスーパーマーケットが出来たところでうまくいかなかった場合、他の雑然とした商業施設が入